

2026年1月5日9時から 「新年挨拶」 代表取締役 森松義喬より (63歳)

新年あけましておめでとうございます。

本日は国際マイクロの「これまで」と「これからの方針」をお話しします。

国際マイクロは1962年の創業以来63年(今年64年を迎える事となります)にわたり、各アーカイブズ機関(官公庁様・図書館様・歴史資料に関わるお客様)等のご支援のもとに事業を続けて来れました。

アナログ中心の時代から今日まで、撮影・保管・デジタル化と時代の変化、に合わせて仕事の形もお客様のニーズ、シーズをもとに変化させてきました。

ここまで会社が続いてきたのは、

何よりも現場を支えてくださった従業員の皆さん「社会貢献しようとする力」があったからです。

まず、その点に心から感謝します。

私が大切にしてきた軸は次の一点です。

「社会に役立つ仕事をして、その成果を、会社と従業員にきちんと還元する」

これは創業以来の基本姿勢であり 今後も変えず、さらに強化できるようになりました。

また、評価や処遇は立場や関係にかかわらず、会社への貢献と役割に基づいて公平に整えていきます。

近年、情報管理の手法・働き方改革 等、会社として新たに整えるべき事項が増えてゆきます。

外部の専門家(情報管理・社労士等)の助言も受けながら、

運用を分かりやすくし、より社会貢献出来、働きやすい、安心できる会社にして参ります。

お客様の期待は年々高度化しています。

歴史資料・公文書等の価値を守りつつ、デジタル化・検索性・品質保証をさらに強化しなければなりません。

これからをさらに良くすることに集中したいと思います。

従業員の皆さんと一緒に

- ・品質
- ・安全
- ・生産性
- ・社会への貢献と、その成果の還元 等

これらの点のさらなる強化を 今年の軸として積み上げてゆきますのでご協力ください。

お客様 や 従業員の皆様 のお問い合わせやご質問(判断が難しい事)はメールで事前にお送りください。

確認のうえ順次KHQ(経営管理本部)で回答する様に検討致します。

それでは従業員の皆さん、本年も健康第一で 共にさらに社会に役立つ仕事を積み上げてゆきましょう。

本年もどうぞよろしくお願い致します。